



SEO10月度マンスリーレポート



第1章：当月の検索エンジン動向



1-1.検索エンジン全体の変動状況

やっと出会えた最高のパートナー

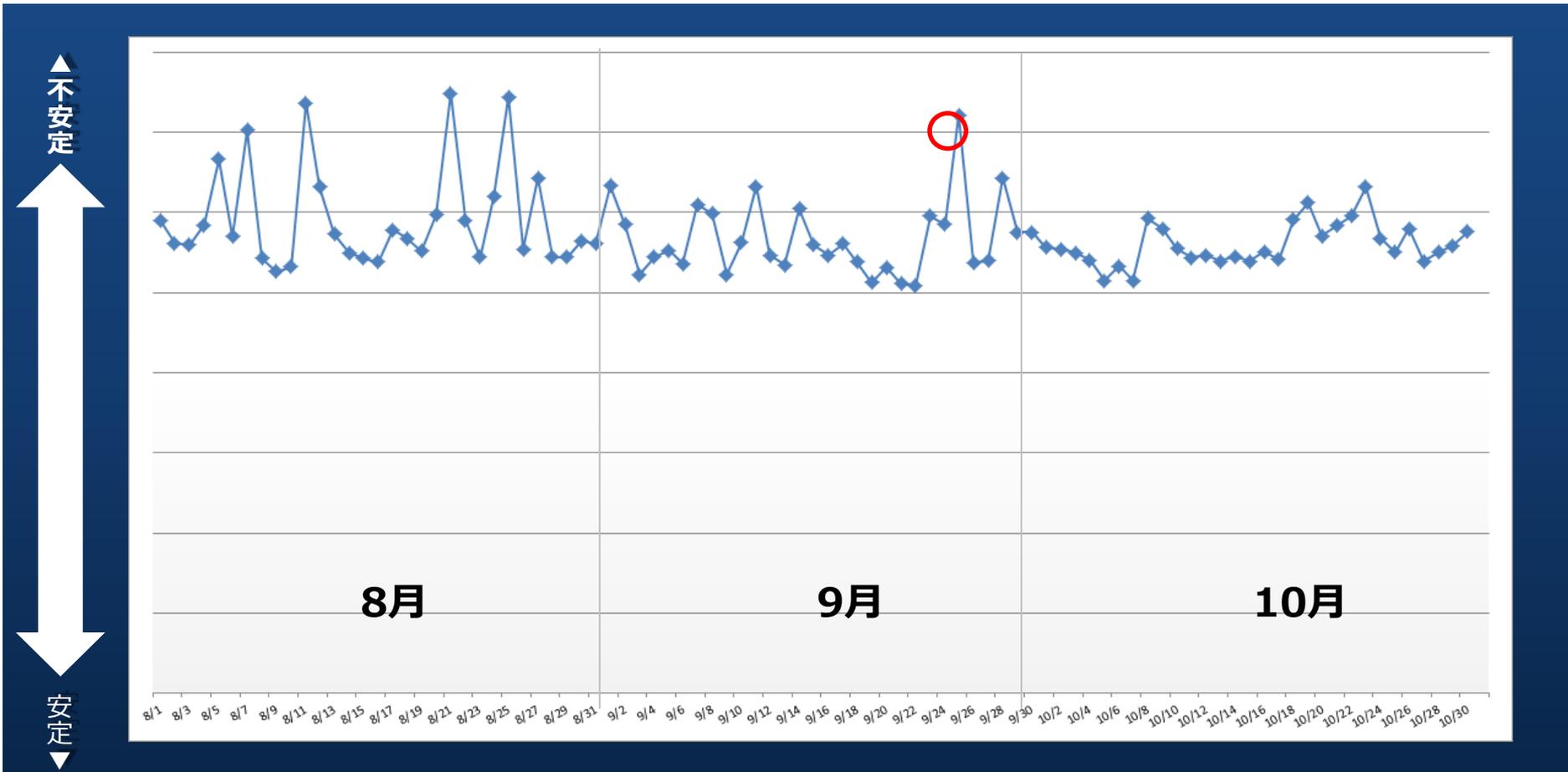
検索エンジン変動状況

8月1日~10月31日

YAHOO!
JAPAN

Google™

変動率とはビッグ、ミドル、スモールワードのサンプル30ワードの順位変動の平均値をもとに検索エンジンの動向をチェックする指標の目安です。



今月は海外で大きな変動がありましたが、日本語圏に影響はなく、全体的には落ち着いた月となりました。



10月の主な出来事

日付	イベント	内容
10月6日	ハッキングされたサイトに対処するアルゴリズム改良を発表	ハッキングを受けたページを検索結果から除外します。結果として、検索結果数が減少することがあります。
10月21日	中大規模変動発生（欧米圏）	欧米圏では大変動を観測しているようですが、日本ではほぼ影響が無いようです。
10月23日	Googleリンクサイト取り締まり実施	一部のベンダーが大量にインデックス削除を受けた模様。
10月27日	RankBrain（ランクブレイン）導入済みを発表	RankBrain（ランクブレイン）と呼ぶ、AI(人工知能)をベースにしたアルゴリズムをGoogleは数か月前から導入しているそうです。



2015年10月検索エンジンの動向特徴

■ 総評として

[変動状況]

10月21日付近に欧米圏で大きな変動を観測したようですが、日本語圏ではさほど大きな変動も無く、10月はとても穏やかな月となりました。

[警告]

一部のSEO外部リンクベンダーにインデックス削除等の取り締まり強化が実施されたようです。

前回は7月に動きがあったため、ここからさらに活発化する可能性があるかもしれません。



GoogleのGary Illyes (ゲイリー・イリーズ) 氏はTwitterで、「パンダからのリカバリにはページを削除する」という意味を含むフォロワーのツイートに対してこのように返信しました。

イリーズ氏：概して言えば、パンダ（アップデート）に対応するためにコンテンツを削除することは勧めない。それよりも質の高いコンテンツをもっと追加しようがいい

また、別のフォロワーとのやり取りで

Q：薄っぺらいコンテンツだらけのサイトはどうなんですか？

たとえば（回答がない）空っぽのページが1,000ページあるフォーラムは？

イリーズ氏：薄っぺらいコンテンツはもっと厚みを持たせる。そして高品質コンテンツをもっとたくさん追加するんだ。

【パンダアップデートからの2つの回復方法】

パンダアップデート（に限らず、質が低いコンテンツがサイト内にたくさんある場合）の対処策には大きく分けて2つのやり方があります。

- 1. コンテンツ品質を高める**…イリーズ氏が推奨する方法です。改善の余地があるなら、質が高まるように修正します。似たようなコンテンツが複数ある状況では1つに統合することも検討します。
- 2. 低品質コンテンツを削除する**…改善の余地がまったく残されていない、どうしようもないコンテンツなら削除が適切です。
- 3. noindexとの併用**…合わせ技として、noindex robots meta タグとの併用があります。「質を高めることは可能だけれど、時間がかかり今すぐには改善できない」というときには、一時的にnoindexにしておく方法がとれます。

※レビューシステム採用サイトの場合、レビューがある程度溜まったら、noindexを外すなどの自動処理を入れる等



Googleのシニア・サーチ・サイエンティストのGreg Corrado（グレッグ・コラード）氏のインタビューによると、RankBrain（ランクブレイン）と呼ぶ、AI (Artificial Intelligence: 人工知能) をベースにしたアルゴリズムをGoogleは数か月前から導入しているそうです。

【RankBrain（ランクブレイン）の特徴】

- ・ AIベース…学習型のプログラムでプログラム自体が進化していく
- ・ 優れたクエリ解釈…曖昧な言葉や口語も的確に理解します。
- ・ 15%のクエリを処理…15%のクエリがGoogleが今までに見たことがないクエリで、RankBrainがそれを処理してきたとのこと

Googleは3番目に重要なアルゴリズムと公表しているが、ランキング評価アルゴリズムというよりは、クエリを解釈するためのアルゴリズムというものではないかと、弊社では、現在の様々な状況から判断しています。

【 RankBrain（ランクブレイン）の対応】

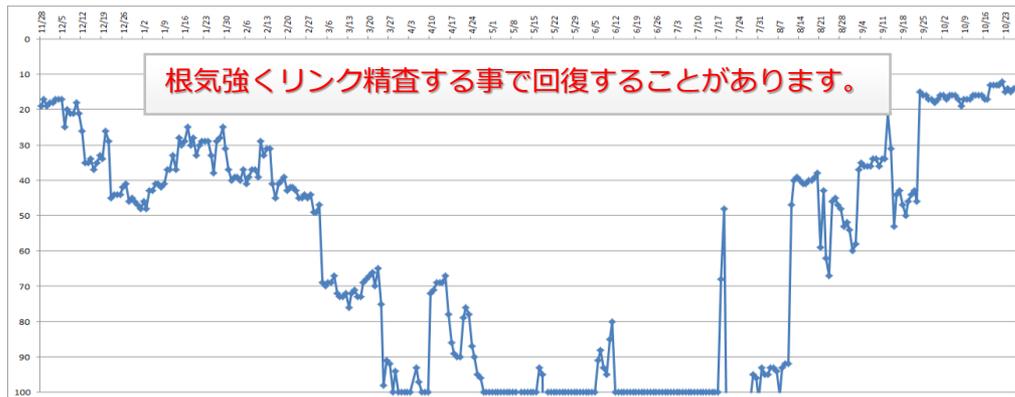
本アルゴリズムについて、特別な対応は必要はないと考えられ、今までどおりの以下の対応、

- ・ ユーザーの役に立つコンテンツとユーザーに使いやすいサイトを提供する
- ・ 検索エンジンと相性がいいサイトを構築する

この上記2点を着実にやっていくことが重要と考えられます。



事例①



●現象

阻害リンクによる自動ペナルティが原因で下落したと予想されるワードが被リンク精査・強化により回復

●施策内容

- ・月次の被リンク精査・否認(約8ヶ月間実施)
- ・無料ブログASPリンクの解除
- ・TOPページへのリンク施策



●現象

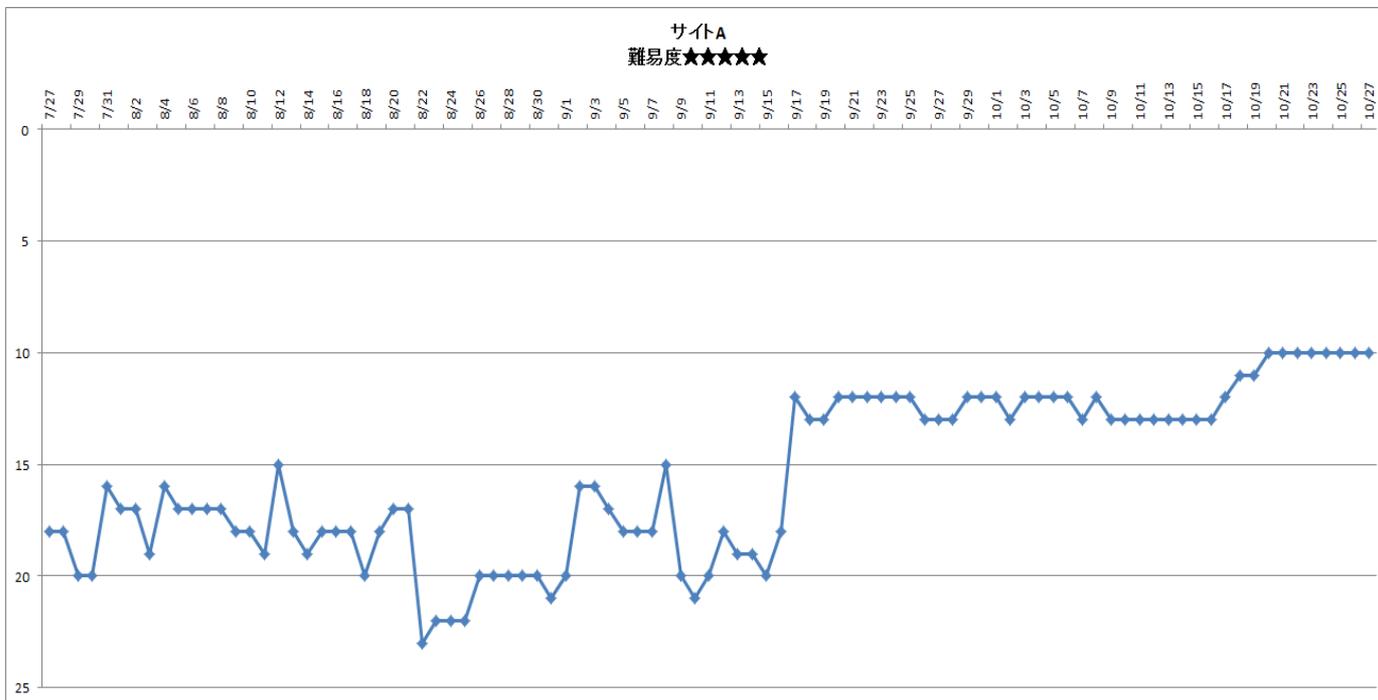
- ・アラート発生日：3/12
- ・アラート解除日：6/16 ※再審査リクエスト数：3回

●施策内容

アラート解除後2ヶ月は大きな順位変動は無く、残存の阻害リンクの影響により9月中旬付近で自動ペナルティに抵触し下落したと予想。その後、否認の効果が出たのか再び回復傾向に。



事例②



アンカーテキスト	本数
http://www.●URL●	6
●URL●	3
website	3
●●●● とは	2
●●●● の特徴をみる	2
Home page	1
web	1
webをチェック!!	1
www.●URL●	1
ウェブサイトへ	1
公式サイトはこちらから	1
ホームページ	1
リンク	1
●●●●	1
公式HPをチェック!!	1
●●●●	1
公式サイトへ	1
詳細	1
詳細はコチラ!	1
詳細情報はこちら	1
詳細情報へ	1
●●●●	1
●●●●	1

上図はビッグワードの対策事例です。サイトにマイナス要因が無い場合、リンク本数が少なく、アンカーテキストも自然な形で効果を出すことが出来ることがわかります。

● 施策内容

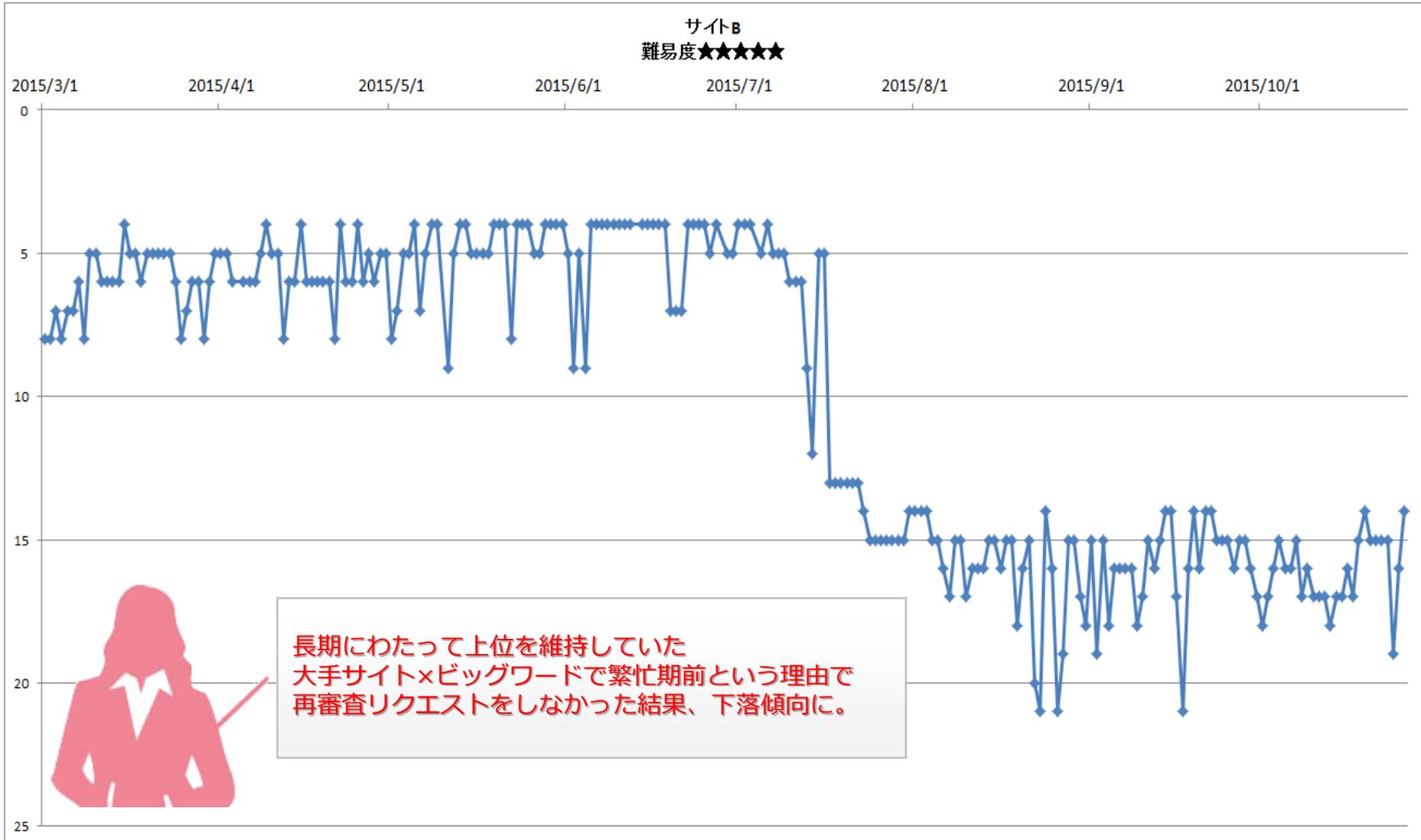
ブログ・・・24本

サテライト・・・10本

トップページリンク・・・0本



事例③



事例④

Message type: [WNC-737700]

Google Search Console

検索結果での Android アプリ android-app://com.
の掲載順位の監視について

Android アプリ android-app://com. の所有者様

本アプリに有効なディープリンクが指定されており、アプリが現在 Google 検索結果に表示されていることを Google のシステムが検出しました。Google 検索でのアプリの掲載順位を監視できるよう、Google Search Console にアプリのアカウントを作成いたしました。

Google 検索でのアプリの掲載順位を最大限に引き上げることができるよう、今後 Search Console からアプリの Google 検索での掲載結果の指標についてお知らせします。また、アプリページをインデックスに登録する際にエラーが発生した場合も通知します。

以下のことを行ってください(まだ行っていない場合)。

同様にアクセス権を付与する

Search Console 内のエラーレポートや検索分析データに他のユーザーがアクセスできるようにするには、そのユーザーに適切なレベルのアクセス権を付与します。

ユーザー管理

設定方法でご不明な点がありましたら、Google のヘルプリソースをご覧ください。

- アプリの確認や権限の設定についての詳細をご覧ください。
- サポートが必要な場合は、[プロダクト フォーラム](#)に質問を投稿してください。その際はメッセージタイプ 件の旨をお知らせください。

Google Inc. 1600 Amphitheatre Parkway Mountain View, CA 94043 | [登録解除](#)
[パートナーを追加](#) この Search Console アカウントについてのメッセージを受信するパートナーを追加できます。

Search Console

ヘルプ

設定

ホーム

すべてのメッセージ(3件)

その他のリソース

並び替え: プロパティの優先性

アルファベット順

並び替え

プロパティの追加



自動的に追加されたアプリアカウント

プロパティの管理

2015/10/15



プロパティの管理

このプロパティは既に別のアカウントに紐付けられています。

プロパティの管理



プロパティの管理

このプロパティは既に別のアカウントに紐付けられています。

プロパティの管理



プロパティの管理

http://ka.pinterest.com の検索(クローリング)も可能となります。詳細を見る

プロパティの管理

2015/05/27

Google Play デベロッパー コンソール上で、アプリのWEBサイトを登録しているアカウントに対して、10月11日上記メッセージが送信されました。

またメッセージと同時にSearch Console上にアプリアカウントが自動的に追加されました。

上記、アプリ&WEBサイトは、ディープリンク等、一切設定を行っておらず、Google Play デベロッパー コンソール上にWEBサイトのURLを登録のみしているアカウントになります。Appindexingの促進の為の一環かもしれません。

尚、アプリ版のSearch Consoleですが、WEBサイト版の簡易版のような仕様となっております、

①メッセージ機能、②検索アナリティクス、③fetch as google、④クロールエラーの4機能となっております。

※2015年10月時点



01月 11月に続いて広範囲にわたって警告が発令された模様。

特定のベンダーのリンクを中心に大規模な警告が発令されたようです。

02月 新たな警告発令や情報がほぼ発生しない珍しい状況。

警告発令の情報は無く特段動きが無い月となったようです。

03月 広範囲に渡って不自然リンクの警告発令

3月13日付近に大手、中小サイト問わず不自然リンクの警告が広範囲に渡って発令されたようです。

04月 特に目立った動きは確認できませんでした。

警告発令の情報は無く特段動きが無い月となったようです。

05月 特に目立った動きは確認できませんでした。

警告発令の情報は無く特段動きが無い月となったようです。

06月 再審査リクエストの合格事例があり動き出した感があります。

4月、5月と動きが無い事からそろそろ動くという予想通り、再審査リクエストに対する反応があり、さらに動き出しそうな雰囲気があります。

07月 不自然リンクの手動ビューワー及び警告が発令されているようです。

前月に続き、警告周りの活動が活発化しており、手動ビューワー、警告発令ともに事例が多く確認できました。

08月 7月の警告サイトで既に合格事例を確認

7月の警告劇で、不可解な要素を残しつつも、既に再審査による合格事例も出現。

09月 7月の警告劇は大半が落ち着いた模様

7月の警告劇で、対象サイトの大半が合格し、順位も落ち着いているようです。

10月 リンクのインデックス削除が一部で発生

一部のSEOリンクベンダーがインデックス削除を受けGoogleが取り締まりに動き出した模様。

